

大学名： 金沢大学

ASPUnivNet の 4つの機能	評価項目	事例記述
<p>学校のユネスコスクール加盟を支援します。</p>	<p>1. ユネスコスクール加盟を希望する地域の学校から相談があったときにそれに応じることができた。</p>	<p>北陸三県のユネスコスクール加盟希望校から問合せや事前の研修依頼があり、これらに対応した。 ・南砺市立平中学校（富山県）、国際高等専門学校（石川県）（※両校はその後チャレンジ期間入り）そのほか</p>
	<p>2. ユネスコスクール・チャレンジ期間実施校に対する相談に応じることができた。</p>	<p>チャレンジ期間実施校に対し、授業等の参観、実践へのアドバイス、教員研修、報告書作成へのアドバイス等を実施した。 ・南砺市立上平小学校（富山県）、小松市立板津中学校（石川県）、仁愛女子高等学校（福井県）※チャレンジ期間終了し、報告書提出 ・南砺市立平中学校（富山県）、石川県立大聖寺実業高等学校、国際高等専門学校（石川県）</p>
	<p>3. 地域の加盟済のユネスコスクールに向けて ESD/SDGs をリードする学校としての「質の向上」にかかわる支援を行うことができた。</p>	<p>主に北陸三県のユネスコスクールに対し、実践改善支援、教員等研修、実践交流支援、成果広報の機会作り等を行った。 ・令和3年度ユネスコ活動費補助金により、「北陸における SDGs 達成に向けた e ラーニング教材（実践編）」の開発を通して、オンライン・対面を組み合わせ実践者・学校との研修・調整を重ねて実践し、その成果をオンライン教材の形でまとめ、公表した。（北陸3県の学校7校と連携団体3団体から11本の教材を製作。<a href="https://esd.w3.kanazawa-u.ac.jp/studystudystudy/">https://esd.w3.kanazawa-u.ac.jp/studystudystudy/</a>） ・実践支援、研修等で関わった域内学校による公開実践交流会・報告会を実施した。（富山県3校、石川県3校4機関、福井県2校） ・北陸3県の北陸 ESD コンソーシアムコーディネーターにより、各学校、教育委員会等での研修、授業実践支援を実施した。（多数）<a href="https://esd.w3.kanazawa-u.ac.jp/work/">https://esd.w3.kanazawa-u.ac.jp/work/</a></p>
<p>大学の持つ知的財産をユネスコスクールの活動に提供します。</p>	<p>1. 大学の資源を活用して、地域のユネスコスクールに向けた支援（資料提供やコーディネート、出前授業やワークショップなど）を行うことができた。</p>	<p>・問合せに応じて、これまで関わった実践についての資料提供、製作したテキスト、実践事例集等の配布を行っている。 ・講習、講座講師の要請に対し、北陸 ESD コンソーシアム・コーディネーターを中心として関係する専門に関わる人材の紹介・仲介を行った。 ・要請に応じ、ワークショップ型研修等を行った。（オンライン・対面型いずれも）</p>
	<p>2. 研修会やワークショップを地域のユネスコスクールと協働して開催することができた。</p>	<p>・北陸三県それぞれでの実践交流会を主催・共催した。 ・教育委員会、ユネスコスクールからの研修要請に応じ、研修・ワークショップを実施した。（対面・オンラインいずれも） <a href="https://esd.w3.kanazawa-u.ac.jp/work/">https://esd.w3.kanazawa-u.ac.jp/work/</a></p>

	<p>3. 大学の資源を活用して、地域のユネスコスクールと協働で教材やモデルプロジェクトを開発することができた。</p>	<p>(再掲)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和 3 年度ユネスコ活動費補助金により、「北陸における SDGs 達成に向けた e ラーニング教材 (実践編)」の開発を通して、オンライン・対面を組み合わせ実践者・学校との研修・調整を重ねて実践し、その成果をオンライン教材の形でまとめ、公表した。(北陸 3 県の学校 7 校と連携団体 3 団体から 11 本の教材を製作。 <a href="https://esd.w3.kanazawa-u.ac.jp/studystudystudy/">https://esd.w3.kanazawa-u.ac.jp/studystudystudy/</a>)</li> </ul>
<p>地域の教育機関とユネスコスクールとの連携を促進します。</p>	<p>1. 地域のステークホルダーにユネスコスクールの存在や意義について広く知らせることができた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実践交流会等への参加を呼びかけるほか、ユネスコスクール、ESD 等に関わる問合せに対して回答・資料送付等を行った。</li> <li>域内首長部局、議員等からの問合せに対し、対面での説明、資料送付等を行った。</li> </ul>
	<p>2. ユネスコスクールと地域の多様なステークホルダーとを結びつけることができた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ユネスコスクールと地域の企業・団体等との連携支援を行っている。実践事例参照 <a href="https://esd.w3.kanazawa-u.ac.jp/">https://esd.w3.kanazawa-u.ac.jp/</a></li> </ul>
	<p>3. ユネスコスクールに関連した地域教育委員会との連携や地域における大学間の連携を促進することができた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>北陸三県域内の県・市町教育委員会と連携し、実践支援、実践交流支援等を継続実施している。</li> <li>各教育委員会から、ユネスコスクール、SDGs・ESD に関わる取組、研修等についての実施実態を報告いただき、取り纏めを行っている。</li> </ul>
<p>国内外のユネスコスクールとのネットワークづくりを支援します。</p>	<p>1. 地域をこえた国内外の多様なステークホルダーにユネスコスクールの存在や意義について知らせることができた</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>北陸 ESD コンソーシアム Web において、北陸三県での SDGs・ESD 実践事例について、研修等で使用可能な教材の形で提供している。(合計 27 本)</li> <li>実践交流会、成果報告会などオンライン型会議・研修について、諸機関の協力を得て広く参加募集を行い、北陸三県外からの参加を得ることができた。</li> </ul>
	<p>2. 地域をこえた国内外のユネスコスクールと協働で活動することができた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>主催した実践交流会、成果報告会において、県外ユネスコスクール(長野県等)から参加・報告を得ることができた。</li> <li>金沢大学教員が実践交流先の県外学校において授業研修等を実施した。</li> </ul>
	<p>3. ユネスコスクールがグローバルな活動することについてそれを支援することができた。(例: ユネスコスクールの国境を越えた交流、海外とのオンライン交流、海外のプロジェクトへの参加など)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>石川県内の学校とシンガポール等海外学校との交流支援を行った。</li> </ul>
<p>その他の活動</p>	<p>1. 大学内でユネスコスクールの存在や意義について広く知らせることができた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動について、Web・講義等を通して知らせている。</li> </ul>

	2. 学部大学院の教育課程でユネスコスクールにかかわる教育を行うことができた。	・共通教育、及び、学校教育学類などにおいて、SDGs・ESD に関わる講義を実施している。
	3. 調査研究活動でユネスコスクールに関連した調査研究を行うことができた。	・北陸 ESD コンソーシアム成果報告書において、各年度の関わるユネスコスクールの実践事例や研修等についての取り纏め、報告等を行っている。 <a href="https://esd.w3.kanazawa-u.ac.jp/work/">https://esd.w3.kanazawa-u.ac.jp/work/</a>
	4. 自由記述	金沢大学、北陸 ESD コンソーシアム（金沢大学に事務局設置）の活動の具体については、独自の Web サイトにて情報を発信しているので、参照いただきたい。 <a href="https://esd.w3.kanazawa-u.ac.jp/">https://esd.w3.kanazawa-u.ac.jp/</a>